

横芝光町の町政を問う！



森川 貴恵 議員・・・P7

- ◆水辺の安全確保は
- ◆学校教育の取り組みは

森 大地 議員・・・P8

- ◆道路補修事業の負担軽減を
- ◆青少年相談員の周知を
- ◆ふれあい坂田池公園の健康遊具の見直しは
- ◆消費者相談室の活動内容は



霞 浩子 議員・・・P9

- ◆移住子育て世帯住宅の入居申込状況は
- ◆外出支援サービス事業の利用対象者の拡充を
- ◆防災訓練を実践的な自主防災へ

宮園 博香 議員・・・P10

- ◆空港南側の鉄道アクセスは考えていない
- ◆国家戦略特区の拡大に伴い関係団体と検討を進める
- ◆輸出強化は関係機関と連携しながら調査・検討をする



川島 富士子 議員・・・P11

- ◆教育行政・教科書バリアフリー法改正に伴う取り組みは
- ◆優しさあふれるまちづくり・認知症に寄り添う地域社会の構築を
- ◆安全で安心なまちづくり・側溝清掃における特殊車両の導入を

山崎 義貞 議員・・・P12

- ◆非核平和宣言の取り組みは
- ◆児童クラブの施設改善を
- ◆栗山橋の新設に伴って造った仮設橋の橋脚は





森 川 貴 恵 議員

Q 児童・生徒の学力向上に 向けた取り組みは

A 学力向上委員会を設置し、全校が共通理解のもと問題解決に取り組んでいる

水辺の安全確保

Q 海の安全確保のため年間を通して、町が行っている安全対策は。

A 海水浴場以外、町は実施していませんが、千葉県山武土木事務所にお問い合わせしたところ、年間を通して海岸パトロールや海岸保全施設の点検等を行っているとのことでした。釣り人に対しては、栗山漁港の防波堤について、千葉県銚子漁港事務所により立ち入り禁止の看板が設置され安全対策が行われています。

Q 川や川沿いのサイクリングロードの安全対策は

A 年2回の除草のほか、「交差点注意」などの路面標示を設置したほか、自動車や自転車の川への転

落を防ぐため、注意を促す大型反射板を設置しました。

Q 栗山川沿いに広がっている、ナガエツルノゲイトウに対しては。

A 今年度、千葉県が横芝堰より上流側で除去対策を行っています。

Q 小中学校での安全教育はどのようなに行っているか

A 小学校の水泳授業を活用し、希望する学校へ「水辺の安全教室」を実施しており、服を着たまま落水したことを想定した「着衣泳」や、落水した際の浮遊を体験する「ペットボトル浮き」や「背浮き」を実際に体験し、自分の命は自分で守るという「セルフレスキュー」の意識や知識、技能を身に付け、安全に楽しく水辺で活動できるよう指導しています。

学校教育

Q 当町の児童・生徒の学力についてどのよ

うに分析しているか

A 令和6年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日に町内小学校6年生及び中学校3年生全員に「国語」「算数・数学」「児童生徒質問紙」を実施しました。調査結果から、「国語」及び「算数・数学」において、全国平均を下回っています。領域別では「読むこ

と」、問題形式では「記述式」に課題が見られました。「算数・数学」では数学的な表現を用いて説明したり、筋道を考え、証明したりすることに課題が見られました。

Q 課題解決のためにどのようなことをしているか

A 1人1台端末を積極的に活用し、個別最適な学びの実現と自分の考えをまとめる、他者と共有する協働的な学びの場面を意図的に設定する等、教員の授業改善とともに推進しています。教育委員会では「家庭学習の手引き」を作

成し、保護者への働きかけを行っています。

Q 学力向上推進委員会の取り組みは

A 毎年5月と2月の2回、学力向上推進委員会を実施し、当町の現状や課題、目標や対策について周知し、各学校での学力向上に向けた取り組みについて共有しています。



道路整備事業の職員の負担軽減を

A 外部委託や会計年度任用職員の

採用を行い改善する



森 大地 議員

Q 行政に対する道路の補修依頼件数は

A 全体要望が144件であり道路修繕にかかる件数は71件です。

Q 道路の補修作業にはどのような負担があるか

A 舗装の穴埋めの場合、職員2名で現場を確認後すぐに補修できる状態であれば持参した常温合材で穴埋めを行います。作業員の応援が必要な場合などすぐに補修できない場合は、体制や資機材を用意して改めて対応しています。また、現場作業が長引くことで後回しにした事務処理を時間外に片付けなければならぬという状況が発生する時

があります。

Q 町民の方々から道路修繕の依頼があり立ち会った際、職員の方が2名体制で一旦業務を止め道路修繕作業に行っている現状を聞き、非常に負担が大きいと感じていたが今後どのようにして負担を改善していくか。

A 道路補修に係る業務の外部委託や、道路



管理に従事する会計年度任用職員の雇用などは、職員の負担を軽減する有効な対策であり、費用対効果を含め検討します。

Q 青少年相談員の現在の活動状況と広報活動は

A 横芝光町青少年相談員連絡協議会は子供たちの健全育成と青少年相談員の資質の向上、相互の連携を図る事業や、集団生活を学ぶためのサマーキャンプや冬季のスキー・スノーボ教室、非行防止の為に「青少年を見守り隊」として夜間巡回を定期的に行っています。また、魅力ある事業の計画や積極的な広報活動等により多くの児童、生徒

が参加できるように実施しています。

Q インターネット検索では過去の記事が多く活動内容がわかりにくい

ため、新しくホームページを作成し、今後周知する予定は。

A 現在町の青少年相談員の事業を紹介するページはないため、今後検討します。

Q 現在ふれあい坂田池公園の健康遊具の使用率が低く、簡素で理解しやすい遊具の一つとして鉄棒があるが導入予定はあるか。

A 今後、現在設置の遊具の更新にあわせて、調査研究し鉄棒設置も視野

に入れています。

Q 過去の消費者相談室の相談件数と相談内容は

A 令和3年度に55件、令和4年度に45件、令和5年度に49件の相談件数であり相談内容としては過去3年間で、パソコンや携帯電話からインターネットサイト上でのトラブル相談が31件と一番多く、借金・多重債務・過払い金の相談が26件、訪問販売や電話勧誘についての相談が10件でした。

Q 当町の消費者トラブルを減らすための周知は

A 広報誌に「消費生活なび」というコーナーを設け消費者トラブルに関する事例等を掲載し啓発活動を行うほか二十歳を祝う式典にて成年になったらできることを記載したリーフレットを配布しました。



霞 浩子 議員

Q 移住子育て世帯住宅 「ヨコシバテラス」の 入居条件の緩和を

A より良い結果が出せるように
努力します

移住・定住を促進する取り組み

Q 移住子育て世帯住宅「ヨコシバテラス」の入居申込状況は

A 町ホームページに掲載、チラシの全戸配布、成田空港関連事業者を通じた従業員への周知依頼等を行いました。8月31日現在の申込状況は0件で、相談件数は5件です。

Q 入居応募条件を緩和して対象者を

を広げないと満室にならないのではないかと①契約期間は3年で更新は1回限りを、末の子が高校卒業年度の3月10日までにする。理由としては最長でも6年というのは短すぎる。②子育て世帯で18歳以下の子どもがいる世帯を共に40歳未満の夫婦のみ世帯も入居可能に理由としてはこれから

子どもを授かるかもしれないし、移住を検討しやすい。

③何部屋か、町内在住の方も入居可能に。理由としては町内の若者を転出させたくない。

A 緩和の件で、どの部分にせよ早い決断も必要かと思えます。打ち合わせを重ね、より良い結果が出せるように努力してまいります。

Q 旧横芝中学校跡地の老人ホーム横芝光の南側道路を延伸してはどうか

A 老人ホーム横芝光開所当時は、下総線バypassが完成していなかったもので、通り抜け道路となり近隣住民に迷惑がかかる懸念され最低限の道路整備となりました。道路を延伸してしまうと、これからの土地活用を制約してしまいます。

要望 旧横芝中学校跡地は移住・定住に向けた住宅用地としての活用が良

いと思います。

外出支援サービス事業

Q 利用対象者は

A 本町に住所を有し、介護保険法に規定する町の認定を受けた方と身体障害者福祉法に規定する方が対象です。

Q 介護保険の認定が無くても通院しているひとり暮らしの高齢者は大変な負担です。頼れる方がいない方は行政を頼るしかないのではないのでしょうか、ひとり暮らしの高齢者と高

Q 介護保険の認定が無くても通院しているひとり暮らしの高齢者は大変な負担です。頼れる方がいない方は行政を頼るしかないのではないのでしょうか、ひとり暮らしの高齢者と高

Q 介護保険の認定が無くても通院しているひとり暮らしの高齢者は大変な負担です。頼れる方がいない方は行政を頼るしかないのではないのでしょうか、ひとり暮らしの高齢者と高



▲老人ホーム南側道路

齢者夫婦のみ世帯の方も利用できるよう事業の拡充を。

A 対象者が現在の2倍程度になりますので、財源を生み出せるかなど、老人福祉費の各種事業全体を見直した中で、選択と集中により総合的に判断してまいります。

防災訓練 何十年も変わらない訓練方法で心配です。地域の方々と一緒にもっと実践的な訓練が必要と考えます。

A 今年度の訓練は例年の内容に加えて町職員と自衛隊による炊き出し。避難者カード作成、段ボールベッドの組立設置等を町体育館で町職員、消防団、住民の方々と行う予定でした。いつ発生するかわからない大規模災害に備えて来年は違ったアクションも計画し、地域防災力の向上を目指した防災訓練を実施していきたいと考えております。



空港南側の鉄道アクセスは考えないのか



グローバルハブ空港としての

機能を持たせますが要望はしていません



宮 蘭 博 香 議員



令和6年7月29日付
けで千葉県知事と成
田空港自治体連絡協議会会
長の連名で、内閣総理大臣
に我が国の国際競争力の強
化に向けた要望書を提出し
たようですが、このような
大事な問題が議会議員に何
も報告がなかったことは残
念でなりません。要望内容
は6点あり①国際線ネット
ワークの充実・強化②道路・
鉄道アクセスの充実・強化
③物流・産業機能の強化の
集積等へ向けた国家戦略特
区の活用④人材の確保・育
成⑤産業用地の整備・開発
の迅速化⑥農林水産物・食
品の輸出機能の強化という
ことであります。一つ一つ
の要望が当町にとって、ど

のように有効なものなのか
ということ考えた時、私
自身としても疑問が残ります
ので、町の考え方につい
て伺います。最初に②です
が、道路アクセスについて
は理解できますが、鉄道に
ついては成田空港北側の単
線区間の解消を図るなど鉄
道アクセスの強化に積極的
に取り組むということでは
、空港南側（芝山鉄道の
延伸）の鉄道アクセスは考
えないのか。次に、③成田
空港を核とした物流・産業
機能の集積や民間投資の促
進へ向けた取り組みを、よ
り広域的な観点から展開す
るため成田市、千葉市を対
象とした現行の国家戦略特
区を千葉県全域に拡大し、



②の鉄道については、
グローバルハブ空港

イノベーション促進法に資
する規制・制度改革の取り
組みを支援するということ
ですが、空港南側地域にど
のようなメリットがあるの
か。次に、⑥令和12年度に
向けた目標額年間5兆円を
達成するためには、輸出機
能の強化に取り組むという
ことですが、当町として具
体的な考え方があるのか伺
います。

規制緩和や制度改革により
広域的な観点から展開しよ
うとするもので、空港南側
地域として何が望ましいか、
関係団体と連携しながら検
討を進めていきます。⑥成
田空港において現在の3.4
倍規模の輸出を担う必要
が想定されることから、輸
出機能の強化を求めています。
成田空港とのアクセス
改善や産地からの物流効率
化と空港周辺地域での輸出
向け大規模施設園芸団地の
形成等の支援であり、当町
としましては、要望に対す
る国の対応を注視し、関係
機関と連携を図りながら調
査・検討を進める必要があ
ると考えています。



※その他の質問

○防災対策について

・南海トラフ巨大地震に
ついて

○人事について

・現在の職員数について

・来年度採用職員数につ
いて



川島富士子 議員



側溝清掃における特殊車両の導入を



高齢化の進展は
待ったなしであるため研究する

教育行政



教科書バリアフリー法改正に伴う本町の取り組みは



「教科書バリアフリー法改正」

は、令和6年7月19日から施行され、通常の教科書の使用に困難を抱えている外国人児童生徒に教科書の音声データ等のデジタルデータを提供可能となり、今まで以上に、日本語の指導が必要な児童生徒には学習の理解度が進み、教師にとりましても教材の選択の幅が広がることとなります。今後は、さらに、外国人児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒の割合は、多くなることで予想されますので、児童生徒の学習における環境整備に努めてまいります。

優しさあふれるまちづくり



認知症の人に寄り添った地域社会の構築



町では、「認知症あんしんガイド」を作成し、福祉課や地域包括支援センターの窓口で配布しています。更に、町広報紙やホームページで正しい情報の周知や、認知症高齢者等見守りシールの発行のほか、認知症サポーター養成講座を継続的に実施しています。また、認知症の人や家族への訪問を行い、認知症専門医と相談のもと、必要な医療や介護制度につな

がるまでの支援を行うほか、地域包括支援センターでは、正しい理解と情報が得られる相談の場として、認知症の人や家族、地域の方々が気軽に参加できる認知症カフェを開催しています。今後、更なる取り組みとして、「見る」、「話す」、「触れる」、「立つ」の4つの柱を基本とする認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」の普及や、認知症の人と家族の社会参加や居場所づくりの支援活動を行う「チームオレンジ」を構築してまいります。

とする認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」の普及や、認知症の人と家族の社会参加や居場所づくりの支援活動を行う「チームオレンジ」を構築してまいります。



高齢化社会に伴う側溝清掃における特殊車両（吸引車・高圧洗浄車）の導入を



道路側溝の清掃は、利用されている方々に管理をお願いしています。が、高齢化が進むにつれ、しだいに困難になることが予想されます。そこで、堆積した汚泥を高圧洗浄車の水圧で碎いて、吸引車で吸引する清掃用の作業車両を導入し、職員を派遣しての自治体もありますが、車両の購入費用に加え保管するための車庫や汚泥の処分費用やオペレーターとしての職員の派遣が必要になるなど、課題がありますが、

安全で安心なまちづくり

高齢化の進展は待ったなしの状況であるため、他自治体の状況や先進事例等について研究してまいります。



※その他の質問

○優しさあふれるまちづくり

・自治体における婚姻届の記入例見直しを
・「マイナ保険証」の普及と利用促進は

○安全で安心なまちづくり

・更なる防災・減災対策を
①自主防災組織の実情および地区防災計画の作成は
②災害時の「福祉的な支援」および保健衛生環境の整備を

Q 栗山橋建設時の橋脚残置は

A 今後の河川改修の中で撤去を検討



山崎 義貞 議員

うになったと考えられます。残されている橋脚については、今後の河川改修の中で撤去を検討すると報告を受けています。

Q 核保有国が核戦力を強化している。核兵器禁止の取り組みを積極的

にすすめるべきでは。

A 毎年行われている原水爆禁止国民平和

行進山武郡市平和行進への後援と激励をさせていただいてます。

Q 学校教育における取り組みは

A 学校教育での学びのほか、山武郡市には退職女性教職員の方々が平和教育を広めるために組織した「房総（ふさ）の会」という団体があり、その方々を町内小学校に講師として招き、太平洋戦争当時の横芝光町の様子をお話いただくとともに、この周辺

にも空襲や東京からの学童疎開があったこと、講話や紙芝居を通じて、戦争を二度と起こしてはならないことや平和の大切さなどを小

学生にわかりやすく伝えていただいています。

Q 家庭環境の変化で児童クラブの利用率が

引き上がっている状況下、今後の利用予想者数や計画は。

A 町の年少人口は減少していますが、核家族化や共働き世帯の増加、ひとり親家庭や外国籍の親を

持つ家庭等の多様な家庭における生活様様の変容や社会情勢の影響等により、低学年児童の利用者は増加傾向にあり直ちに利用児童が

減少するとは考えにくいと推察されます。とりわけ、待機児童の解消は喫緊の課題であると考えており、横芝小児童クラブと上堺小児童クラブの統合・集約の検討を含め、定員を拡大するための課題解決に向けて関係課と協議を進めているところ

です。

Q 利用者からの要望は

A 保護者から利用時間延長の要望が比較的多かったため、令和5年度から、授業日は午後7時まで、土曜日や長期休業日は午前7時30分から午後7時まで延長しました。

Q 夏休み期間の施設内の環境は

A 各施設に設置されているエアコンの冷房機能等については、夏休み期間に限らず室内環境に配慮するよう努めています。

Q 合併後に行われた栗山橋建設。仮設橋の橋脚はなぜ残っているのか。

A 千葉県山武土木事務所に問い合わせたところ、栗山橋の改修工事に伴い、平成20年9月に仮設橋が設置され、その後平成25年度に橋が完成したため、仮設橋や橋脚が撤去されましたが、水面から下のH型鋼が残されたままの状態です。その後、周辺の掘削が進んだため、残されている橋脚の一部が露出し、可視できるよ

